

出藍の誉れ

<学校の教育目標>

自立共生

自ら 仲間と共に よりよく

3年生がふれあい教室で 広島、神戸、大阪に行ってきました

5月29日(水)～31日(金)に2泊3日で広島、神戸、大阪に行ってきました。1日目の広島では平和学習として、原爆資料館の見学をしたり、被爆体験講話を聞いたり、平和の鐘の前で平和セレモニーを行い、合唱を披露したりしました。2日目は神戸で班別研修を行い、事前に調べた施設を訪れました。3日目は大阪のUSJでアトラクションに乗るなど、楽しむことができました。ふれ教後の振り返りの作文を紹介します。



3年1組 日比野 心海

学ぶ場面ときは真剣に仲間と意見を出し合いながら学び、班行動のときには班員と協力し合い支え合いながら、普段できない体験をすることができた。誰かに不安なことが起きたときは進んで支えて、自分ではなく、相手を優先して考えて、その子がふれ教を楽しめるように心がけることができた。

乗る電車を間違えてしまい、班員に迷惑をかけてしまったときに、誰も責めずに「これに乗ればいいんじゃない」などと優しい声かけをしてくれてうれしかった。そして、困っている人がいたら、タブレットで進んで調べて、一人一人がふれ教を楽しくしようとしていたと感じた。誰かが頑張れば良いというわけではなく、進んで取り組んでくれる仲間がいたから、班長の仕事をこなせたと、楽しいふれ教になった。

仲間を考えて行動することが、改めて大事だということがわかった。だから、人の気持ちを第一に考えて行動して誰もが良い気持ちになれるような行動をしていきたい。

3年1組 丹羽 玲菜

ふれあい教室を通して、自分で考えて行動に移すことができた。1日目はエレベーターが混んでいて、時間がぎりぎりになってしまったけれど、2日目と3日目は先を見通して早めに行動することができた。また、学級委員としても何時までに会場に着けばいいのか先生に聞いたり、それを伝えたりできて、今までよりも責任感をもてた。呼びかけや声をかけたら応えてくれる仲間や近くの人に声をかけて教える、気づかせる仲間がたくさんいてうれしかった。今まで呼びかけに応えてくれなかったらといった不安な気持ちもあったけど、1組の仲間のおかげで不安がなくなり、自ら声をかけることができたので、みんなに感謝したい。





3年3組 櫻井 美咲

私たちの班は、一番「笑いつくす」ができたなと思いました。事前取組でもあり、さらに仲が深まった状態でふれ教に行けたので、一人一人が自分の意見を言いつつ、相手の意見も聞き合いながら、過ごせた3日間だったなと思いました。2日目の神戸の班別研修で意見が分かれてしまったこともあったけど、お互い謝り、反省を生かして班でまとまって行動できました。3日目は、おそろいで買うものを提案し合ったり、どこで食べるか話し合ったりして、3日間ともどんどん仲が深まっていき、みんな仲間に尽くせていたなと思いました。

ふれ教で、クラスのみならず仲が深くなれたと思うから、それを良い方向にもっていきたいです。ふれ教で成長したところを伸ばし、直せるところを見つけて改善して、レベルアップをしていきたいです。スポーツ祭は、団結が大事だと思うから、一つ一つのキャンペーンや取組にみんなが力を入れたいです。だから、議員として執行部みんなで呼びかけをすることを頑張りたいなと思いました。



3年2組 藤原 壮汰

ふれ教当日での活動では、集合時間に遅れると、全体に迷惑だから、時間の意識を高めて行動した。ふれ教はたくさん歩くことが多かったなので、自分は足が痛くなっていたら、班の子が「いったん休憩しよ」と言ってくれてすごく助かった。電車の中で、すごくぎゅうぎゅうつめで、ほぼ誰も動けないくらいで、電車から降りる人がいたら、いったん電車から出て降りる人が出たら入って、すごくよいところだと思った。

大事にしたいことは、みんながバラバラで行動していると学級での取組が全くできなくなり、特定の人としかしゃべれない人がたくさんできてしまうから、今は仲が良くなくても、積極的にしゃべりに行くことが大事だと思う。そして、時間はすぐに過ぎていくので、時間意識を高めることを頑張らないといけないと思った。

